

価値創造モデル

日本光電は、経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、社会に価値を提供するとともに、グループの持続的発展と企業価値の向上を目指しています。

経営理念の実現



長期ビジョン

Illuminating Medicine for Humanity

営業利益率 海外売上高比率

15%

45%

INPUT

主な投資資本

財務資本

- 健全な財務体質

流動比率 **360%**
(2025年度)

人的資本

- 多様な従業員

従業員数 **6,116名**
うち海外1,834名
(2026年3月末現在)

知的資本

- 積極的な研究開発投資

研究開発費 **74億円**
(2025年度)

- 革新的な技術開発力

新製品発売数 **8品目**
(2025年度)

製造資本・社会資本

国内外の営業所 **109カ所**
拠点数 国内 海外 **32社のグループ会社**

製品展開エリア 世界 **120カ国以上**
(2026年3月末現在)

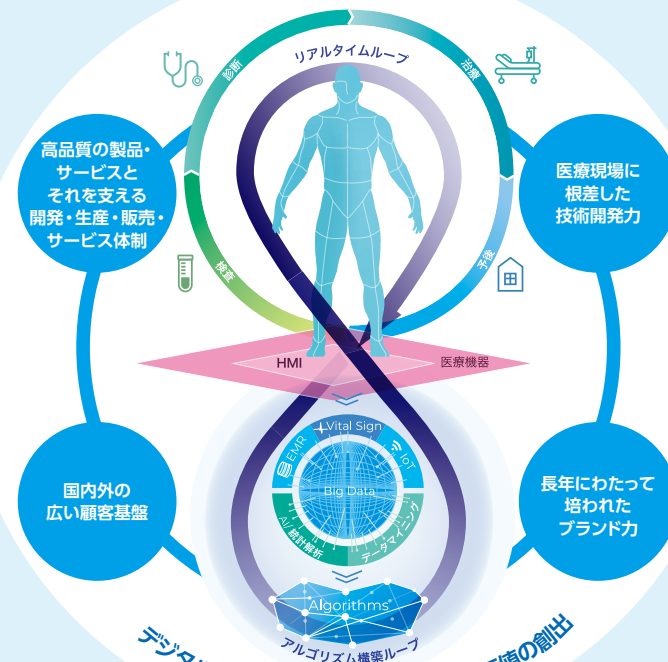
自然資本

売上高CO₂原単位 **4.64t-CO₂/億円**
(2025年度)

リサイクル比率 **96.2%**
(2025年度)

2030 VALUE CREATION COMPASS

価値共創の羅針盤



OUTPUT

中期経営計画 経営目標値

2027年3月期

売上高	2,560億円
国内売上高	1,570億円
海外売上高	990億円
(海外売上高比率)	(38.7%)
営業利益	385億円
(営業利益率)	(15%)
当期純利益	250億円
ROE	12%

2026年3月期 実績値

生体計測機器

売上高	536億円
構成比	22.8%



生体情報モニタ

売上高	842億円
構成比	35.8%



治療機器

売上高	562億円
構成比	23.9%



その他

売上高	409億円
構成比	17.5%



OUTCOME

創出する社会価値

財務資本

- 持続的成長への投資資金
- 株主還元

人的資本

- 医療への貢献にやりがいと誇りを持てる人財
- 人権の尊重
- ウェルビーイングの向上

知的資本

- AIやグリーン技術など価値共創の源泉となるテクノロジー

社会資本

- 患者アウトカムの向上
- 医療インシデントの低減
- 医療従事者の業務負荷軽減
- 医療経済性の向上

自然資本

- カーボンニュートラルの実現
- 循環型経済の推進

製造資本

- 世界最高品質を追求するバリューチェーン

日本光電が着目する医療の外部環境変化

社会課題

- 人口構造の変化
- 疾病構造の変化
- 気候変動、自然災害

医療の課題

- 医療サービス提供の持続性
- 医療の質の確保
- 医療従事者の不足・働き方の見直し
- 医療格差の是正

医療機器業界の潮流

- 医療DXの推進
- サプライチェーンリスクの増大
- ウェルビーイングの促進
- 法規制の厳格化